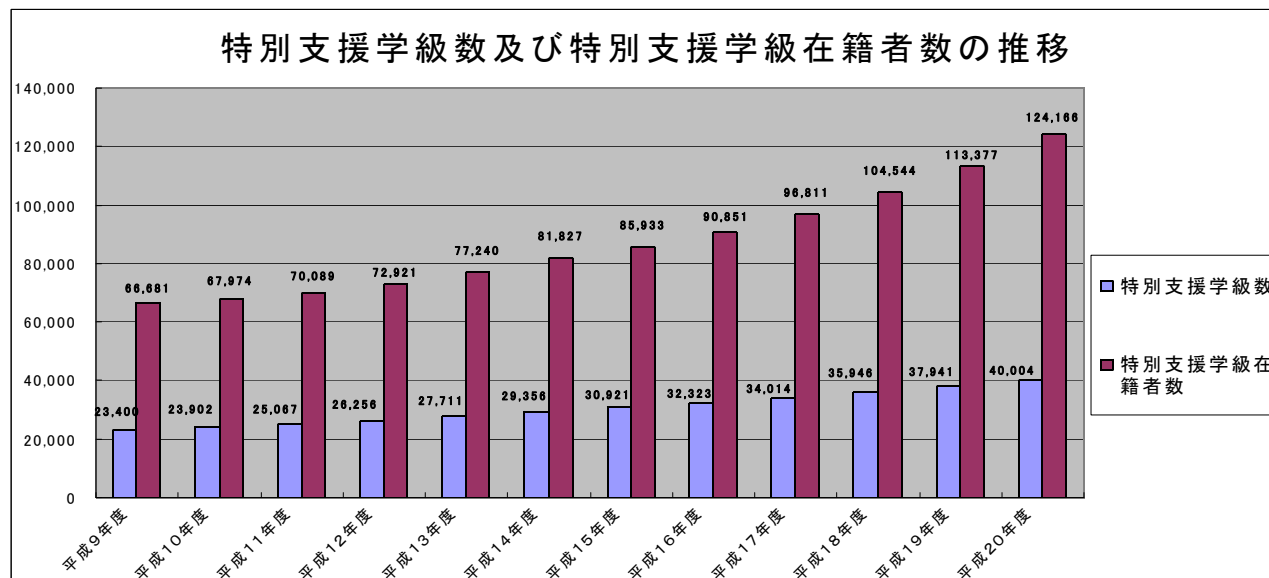


特別支援学級の現状*

※平成18年度までの表記については、特殊学級とする。以下同じ。

1 特別支援学級に在籍する児童生徒の現状

特別支援学級は、障害の比較的軽い子どものために小・中学校に障害の種別ごとに置かれる少人数の学級（8人を上限）であり、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、情緒障害の学級がある。



(平成20年5月1日現在)

区分	小学校		中学校		合計	
	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童生徒数
知的障害	14,143	47,062	6,996	24,202	21,139	71,264
肢体不自由	1,847	3,163	638	1,038	2,485	4,201
病弱・身体虚弱 (※ 院内学級を含む)	780	1,492	312	520	1,092	2,012
弱視	204	257	76	90	280	347
難聴	497	901	209	328	706	1,229
言語障害	386	1,324	64	87	450	1,411
情緒障害	9,817	32,132	4,035	11,570	13,852	43,702
総計	27,674	86,331	12,330	37,835	40,004	124,166

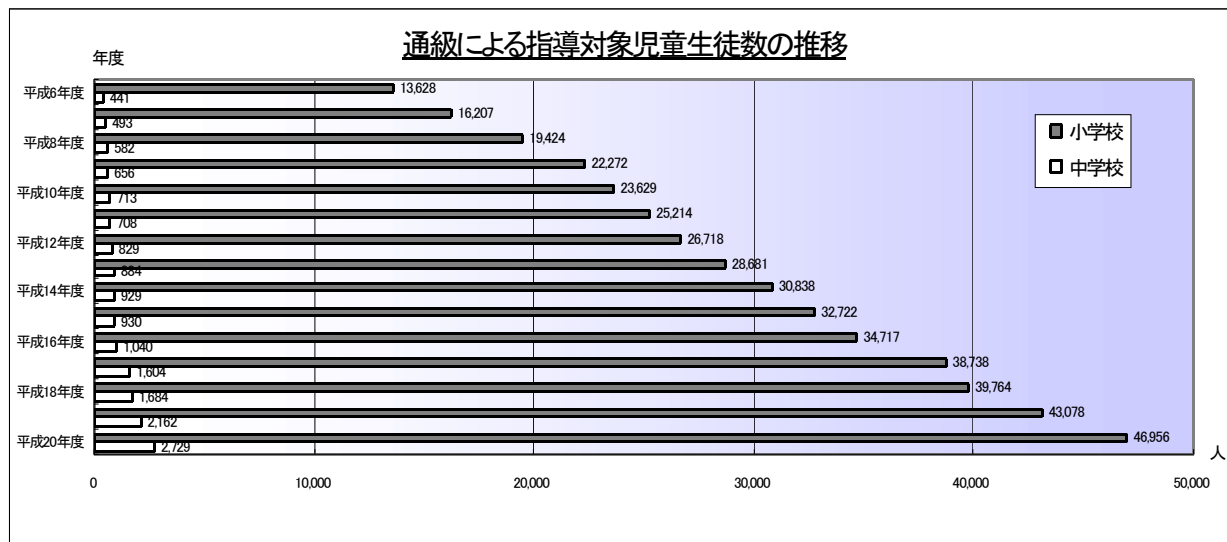
※ 院内学級とは、学校教育法第81条第3項の規定「前項に掲げる学校においては、疾病により療養中の児童及び生徒に対して、特別支援学級を設け、又は教員を派遣して、教育を行うことができる。」に基づいて病院内に設置される病弱・身体虚弱の特別支援学級をいう。

2 特別支援学級設置校数及び担当教員数

区分	学校別			計
	小学校	中学校		
特別支援学級を設置する学校数	15,002校 (66.7%)	7,087校 (64.9%)		22,089校 (66.2%)
設置者別内訳	国立	8	8	16
	公立	14,993	7,078	22,071
	私立	1	1	2
全学 校 数	22,476	10,915		33,391
特別支援学級担当教員数	29,364人	13,239人		42,603人
設置者別内訳	国立	30	30	60
	公立	29,321	13,200	42,521
	私立	13	9	22
上記のうち、特別支援学校 教諭免許状所有者（再掲）	9,917人 (33.8%)	3,713人 (28.0%)		13,630人 (32.0%)

通級による指導の現状

通級による指導は、小・中学校の通常の学級に在籍している障害の軽い子どもが、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、障害の状態等に応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態である。通級の対象は、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、弱視、難聴などである。



(平成20年5月1日現在)

区分	小学校				中学校				合計			
	自校通級	他校通級	巡回指導		自校通級	他校通級	巡回指導		自校通級	他校通級	巡回指導	
言語障害	29,635	11,110	17,838	687	225	76	129	20	29,860 (60.1%)	11,186	17,967	707
自閉症	6,301	1,952	4,230	119	746	255	463	28	7,047 (14.2%)	2,207	4,693	147
情緒障害	3,009	1,123	1,786	100	580	176	377	27	3,589 (7.2%)	1,299	2,163	127
弱視	137	13	115	9	16	4	12	—	153 (0.3%)	17	127	9
難聴	1,616	303	1,188	125	299	68	179	52	1,915 (3.9%)	371	1,367	177
学習障害	3,149	2,095	970	84	533	351	135	47	3,682 (7.4%)	2,446	1,105	131
注意欠陥多動性障害	3,087	1,371	1,615	101	319	151	158	10	3,406 (6.9%)	1,522	1,773	111
肢体不自由	13	12	1	—	1	—	1	—	14 (0.03%)	12	2	—
病弱・身体虚弱	9	1	8	—	10	5	5	—	19 (0.04%)	6	13	—
計	46,956 (94.5%)	17,980	27,751	1,225	2,729 (5.5%)	1,086	1,459	184	49,685 (100.0%)	19,066 (38.4%)	29,210 (58.8%)	1,409 (2.8%)